

言葉で心に栄養を

校長 川原 令子

「トントン」校長室のドアをノックする音とともに、かわいいお客様が校長室に入ってきました。「はい、これ」と差し出された白い封筒。「何が入ってるの?」と尋ねると、理科の時間に育てたホウセンカの種とりをしたので、おすそ分けに来てくれたとのこと。「ありがとう」とお礼を言って、来年の春、花壇にまくことを約束しました。うれしいプレゼントに、心がぽっと温まりました。

先日、9月8日(木)本校で、3年生の「ふれあい活動」が行われました。1学期のふれあい学級を継続させ、地域のお年寄りの皆さんとふれあう活動の2回目です。

体育館で、開会式の後、各教室に分かれ、おじゃめ(お手玉)や割りばし鉄砲、ぶんぶんゴマのグループに分かれ、作り方を教えてもらったり、作ったおもちゃでいっしょに遊んだりして、楽しいひとときを過ごしました。もう一度、体育館に集まり、肩たたきジャンケンゲームをしたり、歌を歌ったりして交流を深めました。

(3年生の感想文より)

- ・ 今日、本当に楽しい一日でした。お年寄りの方に喜んでもらえるようにがんばりたいという目当てが守れてよかったです。おばあちゃんたちといっぱい話をしました。お手玉をつくる時、糸でぬうところをしっぱいしたけど、「だいじょうぶ、だいじょうぶ」と言って、ぬい直していただきました。うれしかったです。
- ・ 体育館で、肩たたきジャンケンをしたら、「気持ちいいよ」と言ってもらえてうれしかったです。また、ふれあい活動があったらうれしいです。
- ・ ぶんぶんゴマで色をぬる時、「白を残せばきれいになるよ」と教えていただきました。その言葉で、心があたたかくなりました。
- ・ 「ここは、こうするんだよ」とやさしく教えてくださった時、心があたたかくなりました。学習発表会、ぜひ、見に来てください。また、会えるとうれしいです。



子どもたちは、やさしい言葉をたくさんもらい、心と心のふれあいができたようです。言葉は、生き物だと思います。こんなにも、子どもたちの心を温かくしてくれました。また、ふれあい学級に参加してくださった方からのお手紙が届き、子どもたちは大喜びでした。想いを言葉にして伝え合うことの大切さを感じました。

ある調査によると、子どもたちが家の人から言われて一番うれしいのは「ありがとう」「〇〇してくれてうれしいよ」「すごいね」という言葉だったそうです。これらの言葉は、子どもを認め励ます言葉です。「あったか言葉」「ほわほわ言葉」「アイメッセージ」など、子どもたちへの言葉かけは、子どもと接するうえでとても重要です。「がんばったね」ではなく「がんばっているのね」と経過を認め励ますなど、叱るより褒めて心に栄養をたくさん送ってあげてください。「言葉づかいは、心づかい」とも言われます。



「きとくと君」と楽しく運動

9月5日（月）本校に、「元気とやまマスコット きとくと君」がやってきました。スポレク富山が開催された年に誕生した「きとくと君」といっしょに、低学年の子どもたちが楽しく「きとくと体操」をしました。

《1年生の感想より》

学校に来てくれてありがとう。きとくとくん、かわいいね。らいねんの1年生にもきとくとくんのえがおを見せてあげてね。うんどうたのしかったよ。3さいなのに、大きくてびっくりしたよ。ほんとうにたのしかったよ。

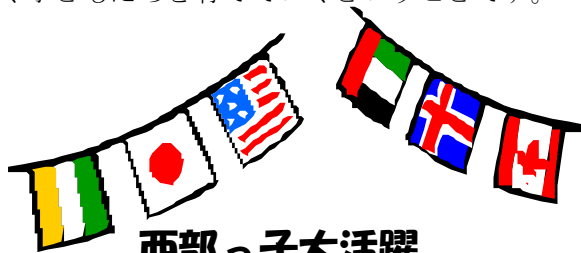


校区のある自治会で、夏休みに親子で手作りはがきに挑戦するという公民館活動が実施されました。そして、東日本大震災で被災した学校に、このはがきを送りたいという想いに高まり、本校を通じて、被災地の学校へ送るという取り組みが行われました。

先日、本校宛てに、送付先の校長先生から礼状が届きました。

この東日本大震災から学ぶことはたくさんあります。緊急時の「自分のいのち」の守り方や学校としての対応マニュアルをどうしていくか、何よりも大切にしていきたいのは、同じ日本人として、心をつないで応援していく子どもたちを育てていくということです。

前略
遠く離れた富山県高岡市からの激励の言葉を、全校に紹介しました。職員（五六名）も子ども達（全校七一四名）も、とても嬉しく心強く感じています。手作りの和紙で作った心温まる激励の葉書は、ボランティア委員会の子ども達も、校長室前の廊下に工夫しながら掲示してくれました。職員や多くの子ども達が見て、勇気をいただいております。大震災から間もなく半年になります。しかし、家族を亡くした職員、親を亡くした子ども、自宅が被害にあった子どもはもとより、今でも夜中の地震でパニックになる子もおります。今なお、辛い思いを心に秘めている者にとって、戸出西部小学校の皆さんからの励ましは、大きな支えになりました。川原校長先生のお心遣いや皆さんの応援をしっかりと心に留めて、復興のために頑張っております。ありがとうございます。



西部っ子大活躍 第90回高岡市小学校連合運動会



9月15日（木）、秋晴れのもと、第90回高岡市小学校連合運動会が行われ、市内の小学6年生1,649名が、城光寺陸上競技場に集まり、日ごろの練習の成果を競い合いました。

西部っ子はどの子も、自己ベスト目指してがんばり、40%以上の好成績を収めました。

《6年生の感想より》

- ・ 60mハードルでは、ハードルの高さが練習の時よりも低くて跳びやすく、余裕で1位になりました。学級対抗リレーでは、特にうれしかったのは、ぼくが2人を抜かし、さらに、R君が、最後に1人抜かして3位に入れたことです。自分でも、結構がんばれたなと思いました。
- ・ 4か月間練習していて、最初は練習が嫌だったけど、やっているうちにどうやったらうまくハードルが跳べるのかなと考えるようになり、目当てをもってやっていると練習が嫌だと思わなくなりました。これからも嫌なことがあるかもしれないけど、目標をもってがんばりたいです。